

0. 読み手ガイド

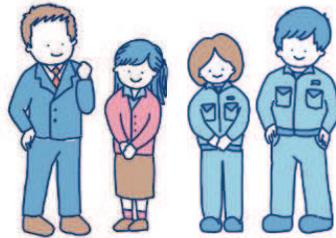
本アクションガイドは、県・市町村・地域コミュニティ・学校・福祉関係団体・事業所等・地域住民など、多様な主体がそれぞれの役割を理解し、相互に連携しながら地域の防災力向上に向けた取組みを推進するための、共通の“よりどころ”として作成したものです。

何を示すアクションガイドなの？

- ・ 本県が目指すべき防災学習の方向性を示します。
- ・ 防災活動に関わる主体ごとの役割と連携の考え方を示します。
- ・ 実際に取り組まれている参考事例とその活用方法についてご紹介します。

このアクションガイドの使い方

県・市町村



自団体の施策や研修の企画、地域支援の方向性整理に活用してください。

自主防災組織等



自主防災組織・自治会等の活動計画づくりや、訓練企画の参考としてください。

学校・教育委員会 事業所等 福祉団体・福祉関係者



既存の取組みに防災を組み込む際の“入口づくり”や役割の確認に活用してください。

地域住民



家庭の備えや地域活動への参加のきっかけとしてご活用ください。

まずどこから見ればいい？

- ・ 興味のあるページから
- ・ 自分が所属する団体に関連したページから（P9～15）
- ・ 次のページにあるチェックリストで「これから」となった項目に関係するページから

参考事例の活用方法

- ・ 参考事例は、「背景」「概要」「成果・効果」「課題」の形式で整理しています。
- ・ 皆さんの地域の状況に応じて、事例の一部だけ取り入れる、他の分野と組み合わせるなど、柔軟にご活用ください。

■ 地域防災活動の現在地チェックリスト

地域の防災の進み具合は、地域によってさまざまです。

このチェックリストは、自主防災組織等がいまの取組みを振り返り、地域の防災をよりよくするためのヒントを見つけるためのものです。地域の特性やメンバーの関わり方に合わせて確認し、みんなで「次の一歩」を話し合うときの参考にしてください。

各項目について、◎ できている ○ だいたいできている △ これから のいずれかを記入してください。

柱1 災害を自分事化する

P16～23

〈STEP1〉知る・気付く

(災害やリスクを知り、自分のこととして意識し始める段階)

- 地域で起こりうる災害を理解している人が多いと感じる
- 避難場所・避難経路を把握している人が多いと感じる

事例

『多様な住民が参加しやすい地域防災研修会』

🔗 P41

〈STEP2〉家庭で話す

(知識を共有し、家族と話題にする段階)

- 地域住民が、自分の家や家族が被災した場合の行動を家族で話し合っている
- 地域住民が、家族で安否確認方法について話し合っている

事例

『防災フェスティバル』

🔗 P43

〈STEP3〉自ら動く・備える

(自分事として行動する段階)

- 地域住民が、自分の家や家族が被災した場合の行動を想定し、準備している
- 「誰かがやる」ではなく「自分も動く」と考える人が増えていると感じる

事例

『子どもたちのサマーキャンプにおける防災学習』

🔗 P45

柱2 地域の防災活動の実効性をあげる

P24～31

〈STEP1〉関わる・始めてみる

(できることから防災に取組み始める段階)

- 地域の防災活動に参加する人が増えていると感じる
- 一般的な防災訓練が定期的に行われている

事例

『しばはし防災ネットワークによる地域の防災力向上』

🔗 P53

〈STEP2〉地域で相談しながら形にする

(関わる人たちと話し合いながら、備えを整えていく段階)

- 地域の防災計画や防災マニュアルが整備されている
- 学校・福祉・事業者などと一緒に訓練や話し合いをしている

事例

『地区社会福祉協議会が主体となった地域の防災活動』

🔗 P47

『学校と地域による避難所開設を想定した連携体制の構築』

🔗 P51

『複数部署の横連携による防災活動』

🔗 P55

〈STEP3〉繰り返して改善する

(実際にやってみたことを振り返り、より良くしていく段階)

- STEP2で整備した防災マニュアル等に基づいた訓練(安否確認や避難所運営等)を実際に行っている
- 訓練の教訓や最新の知見を基に防災マニュアル等を見直している

事例

『複合的なハザードを踏まえた学校での緊急時引き渡し・留め置き訓練(地震災害)』

🔗 P49

『しばはし防災ネットワークによる地域の防災力向上』

🔗 P53

柱3 幅広い担い手を育成する

P32～39

〈STEP1〉一部の人が担っている

(中心になる人がいて、活動が成り立っている段階)

- 地域の中に、防災活動を支えている人達がいる
- リーダーを中心とした基本的な役割分担ができている

事例

『児童生徒と教職員を対象とした学校防災の強化』

🔗 P61

『自主防災組織リーダー研修会』

🔗 P63

〈STEP2〉関わる人が増える

(担い手の裾野が広がり始める段階)

- 若い人、女性、仕事をしている人も地域の防災活動に関わっている
- 短い時間でも、できる範囲で参加する人が増えている

事例

『山形市自主防災リーダー・アドバイザー(YVL)登録制度』

🔗 P57

『女性防災リーダー育成講座・酒田防災

コーディネーター事業』

🔗 P59

〈STEP3〉地域に根付く

(継続性が生まれ、自然に回る段階)

- 防災知識・スキルを持つ地域の防災リーダーが育ち、活動している
- 役割の引き継ぎや世代交代が、無理なく行われている

事例

『幼保から中学生まで「切れ目のない防災教育」』

🔗 P65

『中山町全世代防災教育普及事業』

🔗 P67

チェック結果の見方

- ◆各柱について「△これから」となった項目は、今後の取組みが期待される点を示しています。今すぐすべての項目がStep3である必要はありません。
- ◆今の段階を確認したうえで、“地域における防災学習アクションガイド”を参考に「次に何ができそうか」を考えることが大切です。